

2014年(平成26年)5月2日(金曜日)

日本食糧新聞

日本食糧新聞

売上高12%増の193億円

アサヒクロジ ステイクス 東日本商圈拡大



横塚元樹社長

食品物流に特化した物流企業のアサヒクロジ ステイクス(埼玉)は

4月23日、東京都新宿区のハイアットリージョ エンシー東京で第61期経営計画発表会を開催し、関係者や社員など約300人の参加で開催し、横塚元樹社長は60期(14年3月期)に関東圏から東日本のアサヒに商圈を拡大したことを報告した。同社の第60期

の売上高は193億円(前年比12%増)で利益は4億5000万円となった。新規営業拠点の開設が売上高に寄与し、新規業務への先行投資やエネルギーコスト高騰の中でも一定の利益を出した。

直近の新規営業所開設では、9月に同社初となる関東圏外拠点として新潟物流センター(2万2440㎡倉庫、250人新規採用)を長岡市に開設し、新潟ナンバーワンのスーパーマーケット74店舗のドライクロサリーの配送業務をスタートし

た。4月にはグループ会社のデイリースタッフが同じく新潟にスーパーマーケットの配送業務を毎日、大型車両で68コースの運行が始まった。なお、1月には大手CVSに25台の常温配送を行う相模原営業所が開設している。

横塚社長は「60期で日配店舗数は1万店舗となった。また関東のアサヒであったが、新潟に2拠点が開設したことで東日本のアサヒに前進した。全国に物流会社は約6万3000社ある中で当社は120、130番目。61

期は、本日発表した日本の食生活を支える物流インフラ企業としてのグループ経営理念に基づき、全国のメジャー企業を目指してお客さま、社員、会社の発展のためにまい進する」とあいさつした。

また、3月には埼玉県滑川市に車両の予防整備を追求したアサヒオートサービス新工場を開設して車両管理をレベルアップし、ガソリンの備蓄も70kl増やしてグループ全車両の10日分を賄うことができる240kl体制にした。(福島厚子)